日本社会教育学会
第７回定例研究会

プロジェクト研究

ワークライフバランス時代における社会教育

報告①

“マイペース酪農”にみる仕事と暮らし

－バランス論を超えて－

河野　和枝（元・北星学園大学）

報告②

ハンセン病回復者の存在論

－ワークライフバランス時代の“ライフ”を問う－

小林　洋司（日本福祉大学）

日時：2019年 5月11日（土）１５：００～18：00

会場：日本福祉大学名古屋キャンパス　北館８ＢＣ教室

（〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35）

資料準備のため、参加にあたっては事前に以下までお知らせいただくか、Facebookイベントページからご登録ください。

お問い合わせ先：
研究代表　冨永貴公（都留文科大学）
tominaga@tsuru.ac.jp

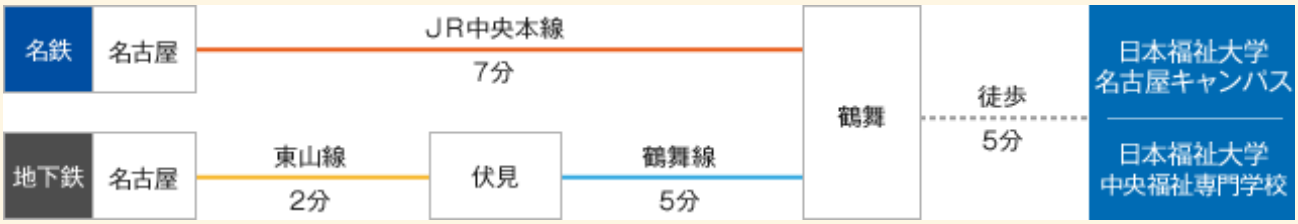
写真：プロジェクトメンバーのミーティングのようす（2017年11月）

仕事や暮らしが大きく変容している今、社会教育には、何ができるのか――？

「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）憲章」「働き方改革」「女性活躍推進」など関連政策が展開されています。そのなか、わたしたちのワークライフバランスの実現には、多様なライフスタイルや価値を問い直し、選択することを支える学習が求められます。

本プロジェクトでは、ポスト近代や社会システムの変容に関わる議論を踏まえ、そこにおける社会教育行政・施設、および、社会教育実践の課題と役割を問い、さらに、新しい生活世界の創造に取り組む市民や団体による実践の検討を行います。

（プロジェクト研究・趣旨）



facebook

本プロジェクト研究は、Facebookページでの情報発信を行っております。左のQRコードを読み取り、「いいね！」をしていただけると、プロジェクト研究の進捗状況や研究会等の情報をご覧いただくことができます。下記URLからもご覧いただけます。
https://www.facebook.com/worklifebalance.JSSACE/